

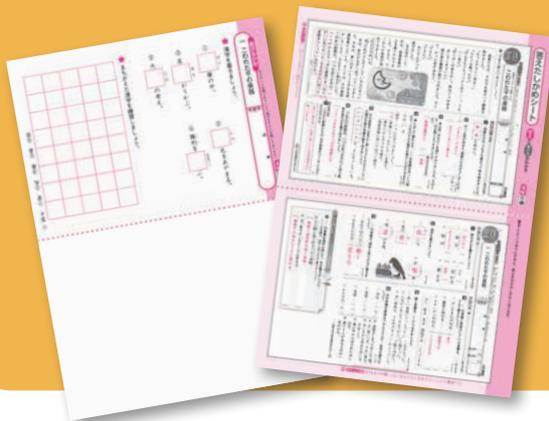
「答えたしかめシート」 (解説付きのテストの縮刷解答) を有効活用しよう!



東京都在住
C.I.先生 (40代男性)

「答えたしかめシート編」

テストの答え直しに多くの時間を割けないときには、「答えたしかめシート」の出番です。テストの実施直後や返却時に配る場合が多いと思いますが、いずれの場合も、単に配って終わりにするのではなく、先生が意図的に活用することで、大きな教育効果を得ることができます。



**「答えたしかめシート」に
ちよつとじた工夫を!**

「答えたしかめシート」を使って答え直しをするときは、全ての問題を一問ずつ解説するよりも、間違えた問題や複数の正答が存在する問題などをピックアップして解説することの方が多いです。

その際、ただ解説を聞かせるだけではなく、**特に伝えたいことを「答えたしかめシート」の余白に書かせること**で、効果的に学習内容を定着させることができます。

適切な「答え方」の指導にも!

国語では、「なぜ」に対しては「〜から」、「どんなこと」に対しては「〜こと」、「文を書きぬきましょう。」に対しては、「本文をそのまま視写するなど、設問に合った答え方が求められます。」

「聞かれたことにしっかり答えましょう。」という指示を繰り返しても、適切な答え方は身に付きません。

そこで、「答えたしかめシート」を使って、日頃から答え方の指導をおきます。

「答えたしかめシート」を見ながら問題を音読させ、「聞かれていることは?」「理由!」、「答え方は?」「だから!」というやりとりを子どもとしたあとで、**答えを音読させると効果的です。**



聞かれていることは何かな?

正しい漢字の定着にも!

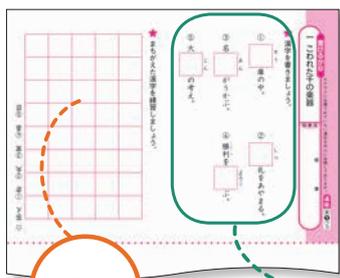
「〇年で習った漢字」、「漢字のまとめ」など、漢字のテストの場合は、**子ども**

に自分で丸付けをさせることも有効

です。これにより、書けなかった漢字や間違えて覚えていた漢字を自分で意識するようになり、だんだんと書けるようになっていきます。

その際、「答えたしかめシート」があれば、**子ども一人ひとりの手元に正しい漢字のお手本を置いておくことができるので、自分で丸付けをさせるのにとっても便利です。**

また、国語の「答えたしかめシート」のウラには、**テストで出題されなかった漢字の補充問題があります。**



練習マス

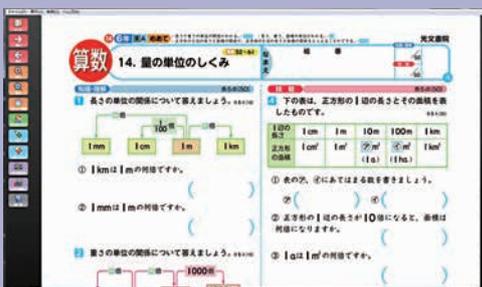
答えもすぐ近くに掲載されているので、練習後すぐに自己採点できます。間違えた問題を練習するマス目もあるので、**短時間で効果的な漢字練習ができます。**家庭学習として活用するのも良いですね。



東京都昭島市立
拝島第三小学校
中村 将行 先生

デジタルの活用でテストの時間も 学びの時間に！

テストの時間も子どもたちにとっては大切な学びの時間です。テスト中に机間巡視をすると、多くの子どもたちが同じ問題につまずいていることがあります。そんなときはテストの実施直後に「デジタルテストビューア」でその問題を大きく映し出し、みんなでもう一度考える時間をとりましょう！



デジタル テストビューア編

テスト後すぐに！みんなで振り返りができる！

六年生で算数の「量と単位のしくみ」のテストを実施していたら、体積の単位の問題ができていない子どもが多いことに気づきました。そこでテストの実施直後に、「デジタルテストビューア」でその問題を大型テレビに映し出しました。



すると、
「あ、この問題分からなかった！」
「体積は苦手だ！」
「先生、答えを知りたいです！」
といった声が上がりました。
子どもたちも、分からなかった問題や、自信がない問題をテストの実施直後、すぐに振り返りたいと思っているのです。

図や表はテスト紙面を活用しよう！

「デジタルテストビューア」を使えばちょっとした時間を省くことができ、その分じっくりと時間をかけてテストの答え直しをすることができます。

たとえば、テストで出題されている表と同じものをはじめから黒板に書いていたら時間がかかってしまいます。

そんなときに「デジタルテストビューア」を使えば、テスト紙面をそのまま大型テレビに映すことができるので、表を書く手間を省き、すぐに問題の答え直しに入ることができます。

次の体積の単位の問題の中でも、誤答や無解答が多かったのが「立方体の1辺の長さが10倍になると、体積は何倍になるか」という問題です。この問

問題は表の見方が分からないと理解しにくいので、「ペン」で表の中の関係をかき込んでいきます。

子どもたちとやりとりをしながら、表に矢印や関係をかき込むことで、
「あ、なるほど！」
「そう考えれば良かったんだ！」
といった声が上がりました。

「ペン」で直接かき込みができる！

下の表は、立方体の1辺の長さとしたものです。

1辺の長さ	1cm	—	—	10cm	1m
立方体の体積	㊦ cm ³ (1 mL)	10cm ³	㊧ cm ³ (1 dL)	1000cm ³ (1 L)	1m ³

① 表の㊦、㊧にあてはまる数を書きましょう。
㊦ (1) ㊧ (100)

② 立方体の1辺の長さが10倍になると、体積は何倍になりますか。

1000倍

問題ごとに1クリックで解答を表示！

「デジタルテストビューア」を活用すると、テスト終了後のわずか三〜四分で、効果的・効率的に子どもたちが苦手な問題の振り返りができました。

できない、分からないと感じたときが、学びのチャンスでもあるので、そこを見逃さず、子どもたちのやる気を高め、学力を定着させていきたいです。